

国立大学法人新潟大学 決算報告書

平成 17 年 6 月

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 新潟大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,650	17,650	0	
施設整備費補助金	1,882	555	△1,327	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	31	31	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	22,861	22,340	△521	
授業料及入学金検定料収入	7,778	6,831	△947	(注2)
附属病院収入	14,929	15,289	360	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	154	220	66	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,256	1,722	466	(注5)
長期借入金収入	4,409	4,367	△42	(注6)
計	48,089	46,665	△1,424	
支出				
業務費	38,242	37,787	△455	
教育研究経費	19,849	18,773	△1,076	(注7)
診療経費	13,701	14,475	774	(注8)
一般管理費	4,692	4,539	△153	(注9)
施設整備費	6,291	4,922	△1,369	(注10)
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,256	1,481	225	(注11)
長期借入金償還金	2,300	2,298	△2	(注12)
計	48,089	46,488	△1,601	
収入-支出	0	177	177	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、工事の一部が平成17年度に竣工する予定となり、これに係る補助金の交付を受けなかったことにより、予算額に比して決算額が1,321百万円少額となっています。
- (注2) 授業料及入学金検定料収入については、平成17年度新入生に対する授業料の前倒し収納を実施しなかったことにより、予算額に比して決算額が673百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、患者数の増加に努めたこと等により、予算額に比して決算額が360百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、国立学校特別会計の承継剰余金の交付を受けたことにより、予算額に比して決算額が42百万円増額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産官学連携推進に努めたため、予算額に比して決算額が466百万円多額となっています。
- (注6) 長期借入金収入については、入札により病棟(仕上)工事の契約額が予定よりも廉価となったため、予算額に比して決算額が38百万円少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、退職者が見込より少数であったこと等により、人件費が予算額に比して553百万円少額となっています。

- (注8) 診療経費については、患者数の増加等により物件費が予算額に比して695百万円多額となっています。
- (注9) 一般管理費については、退職者が見込より少数であったこと等により、人件費が予算額に比して106百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、一部の工事が平成17年度に竣工することに伴い、平成16年度中に代金の支払いを行わなかったため、予算額に比して決算額が1,321百万円少額となっています。
- (注11) 注5に示した理由により、予算額に比して決算額が225百万円多額となっています。
- (注12) 見込んだ借入条件の違いにより、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。